



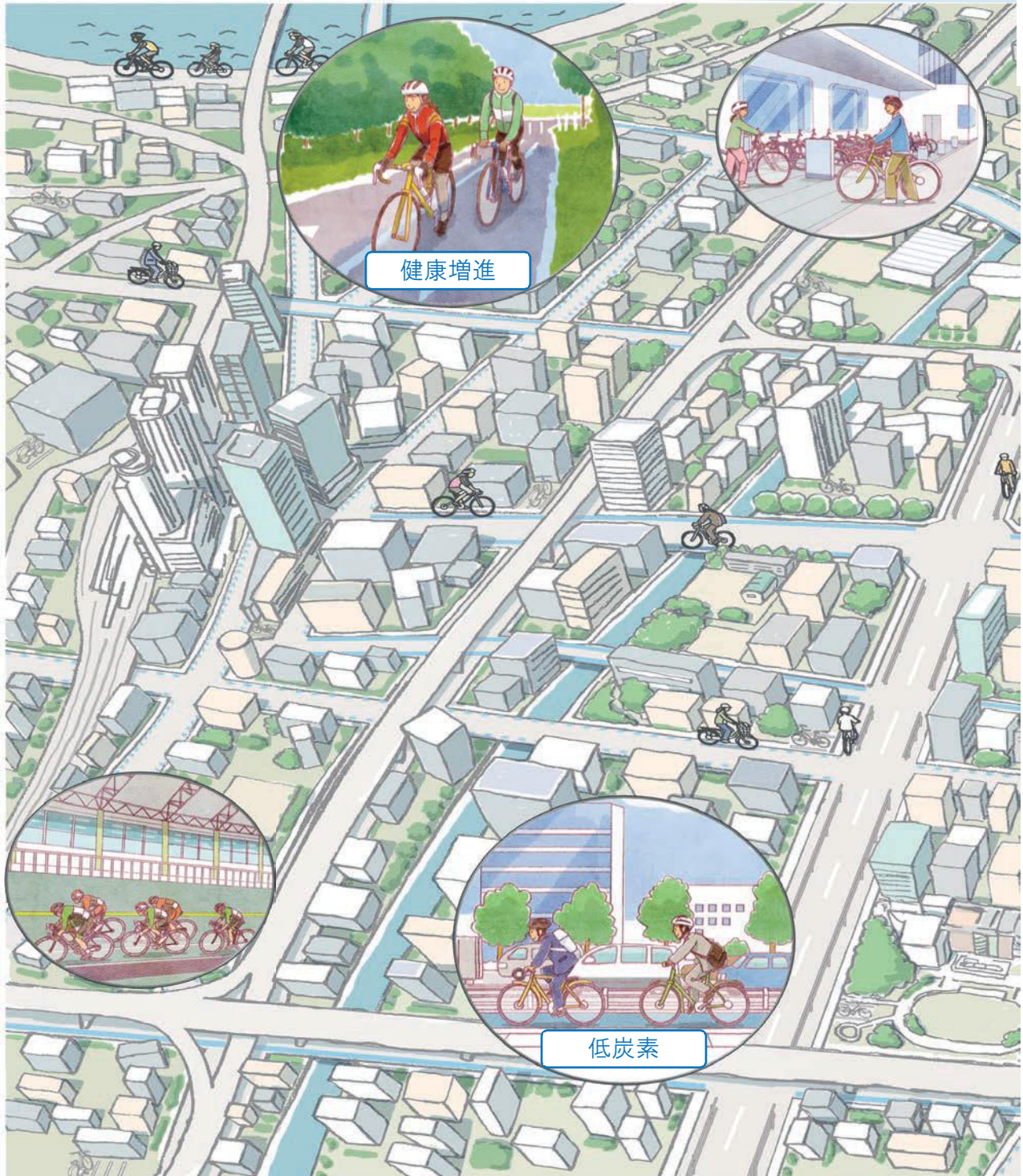
第Ⅲ章 将来のめざす姿

第Ⅲ章 将来のめざす姿

本市において自転車が交通手段の名脇役として日常生活で利用が進むとともに、健康増進を目的とした自転車の活用やサイクルスポーツの普及、観光での自転車の活用などがされるようになれば、「低炭素」「健康増進」「都市魅力向上」「減災」などに寄与すると考えます。

将来のめざす姿

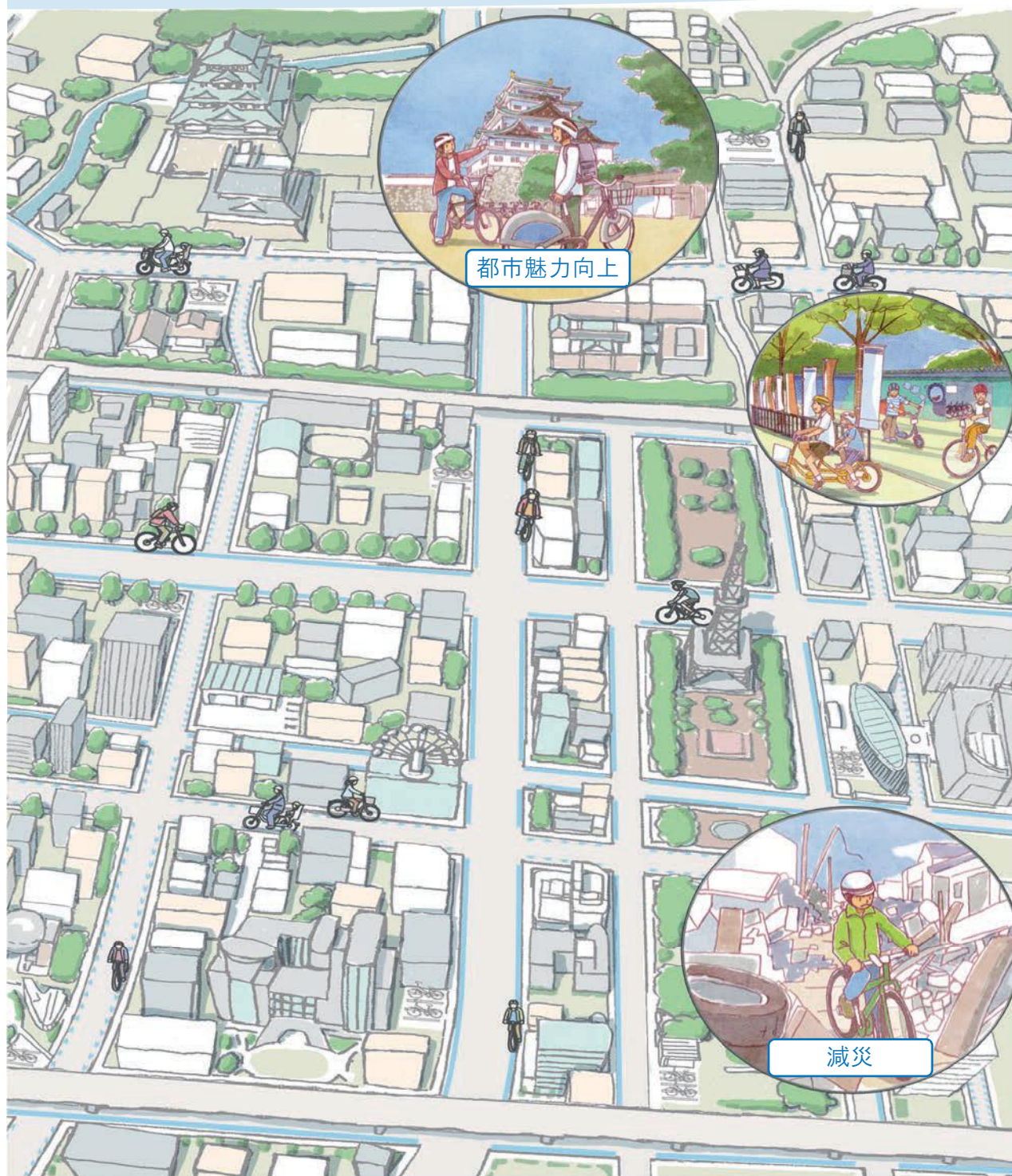
『自転車があらゆる場』





そこで、極めて身近な交通手段であり、さまざまなメリットをもたらす自転車があらゆる場面で活きているまちをめざします。

面で活きているまち』



コラム3 自転車活用の効果（その2）

●自転車レースの開催

宇都宮市では、国際自転車競技連合（UCI）が定める大陸ツアーの中で最上位のレースカテゴリー「オークラス」に属する、アジア最高位の自転車ワンデイロードレースである「ジャパンカップサイクルードレース」を毎年開催しています。

同大会には、UCI競技規則の競技者が多数参加するとともに、話題性に優れたチームや選手を招へいし、迫力あるレースが展開されます。

「2016ジャパンカップサイクルードレース」の観戦者数は13.5万人であり、その経済効果は28億4,500万円と試算されています。

●市民参加型の自転車イベント

東京では市民等が参加できる公道を利用したイベントとして、ニューヨークの「BIKE NEW YORK」に倣い、「BIKE TOKYO」というイベントが開催されています。同イベントは、公道を利用した37km程度のサイクリングイベントであり、いわば市民マラソンの自転車版といえます。コース上にはエイドステーションと呼ばれる「休憩所」や、万が一に備えたサポートカーも用意されているので、自転車初心者の方も参加することができるイベントとなっています。

●都市魅力向上に寄与する自転車

神奈川県開成町や茨城県かすみがうら市などでは、イベント参加者により深く地域を楽しんでもらう仕組みとして、エリア内のスポットを回り、獲得ポイントを競うロゲイニングというイベントが実施されています。同イベントでは、具体的な消費行動を含んだミッションポイント等を設定することにより、イベント中に実質的な交流・消費行動が生まれます。また、写真を撮ることをルールとしており、SNSで観光名所・名物が拡散されるため、地域振興の一助となる取り組みです。

資料：宇都宮市資料

資料：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

■クリテリウム（大通り周回コース）



©JAPANCUP UTSUNOMIYA

■「BIKE TOKYO」



■ロゲイニングのイメージ



ロゲイニング・・・支給された地図とコンパスを使用して制限時間内にできるだけ多くの記録地点を通過し、地点ごとに割り当てられた点数の合計を競う野外運動競技のこと。